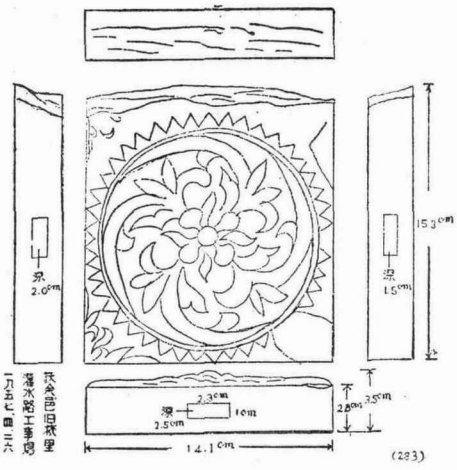
에 陳列되었다。 既出의 箱子型塼과 크기와 表面紋儀가 同一하여 鋸齒圈內의 十字型 忍多紋을 새겼는데 缺失半面에는 蓮花文이 있었을 것으로 推定된다。 厚三·五㎝의 平塼으로서 黑色을 보이고 있으며 側面에는 矩形孔이 뚫려있어 注目된다。 百濟의 箱子塼과 比較될 新資料이다。

公州上莘里立石

金 永 培



公州郡 反浦面 上莘里(상신소)部落入口에 있다。 花崗岩이 自然石으로 上狹下廣한 方錐形인바 現高二㎡四三㎝ 上端廣二四㎝ 下部廣六三㎝ 側幅二五㎝、南側廣面에는 四字二行으로 「莘埜春秋 棰源日月」이라 있으나 近世의 刻字인듯하다。 또 南側地面에는 小形의 祭床石이 있는바 每年舊正에는 部落安泰를 위하여 農樂 祭物로서 祭祀한다고 한다。 部落民은 이立石을 「장성바위」라고 부르며 太古때부터 그자리에서 있다고 傳한다。(六二年五月十六日調査)

通度寺大雄殿墨書 및 瓦銘集錄

黃 壽 永

(A) 墨書銘(七月三十一日工事中發見)

(其一)(東便박공內석가래三本에 縱書四行) 順治二年甲申十一日立柱」同年八月初十日上樑」 同年八月十八日椽」 匠工二十餘名 上樑後十四名 造錬者

(其二) (同一場所의 대들보에 別記)

丙戌年丹靑(따로 十餘名의 이름이 列記되어있다)

(B) 女瓦막새銘文(陽刻縱書年代順)

(1) 甲申年」 施主太正灵駕?」 施主惠倫比□」 施主懶雲灵□」 供養施主印行比?」 供養施主熙□」 供養大施主善……」 供養大施主……」 供養大施主徐召伊兩主」 供養大施主朴仁兩主」 供養大施主金應丑兩主」 供養大施主莫介兩主」 供養大施主敬軒比丘」……施主灵俊比丘」 施主英戍……」 施主普……」 施主大日比……」 大化……」(甲申은順治元年 一六四四)

(2) 康熙五十三年」 甲午三月日明」 眷阿瓦施主」 社世?昌文九」 辻手淸允惠行」 供盖俊漢云」 別座大安」 化主兼都監信甘」……文甘」 座……惠寶律」?……」

(3) 龍」 庚子五月」 化主秋波大明」 僧統智英」 都監宋震」 別座智揔」 片手智閑」 龍

(4) 卍」 宋雪牛」 住持」通度寺」 片手李殷奎」 都監鄭信海」 卍佛紀二千」九百五十四年丁」 卯(昭和二年) 四月日

(C) 鐵瓦銘(女瓦陽刻) 一枚뿐으로 陳列機保管 大化主秋波堂大明」 邊國泰蔡雲履」 片首幼學蔡明熟」 梁山北面大召谷」 乾隆五十年乙巳三月日

(以上은 現場駐在하던 朱舜執氏의 敎示와 拓本에 의하였다)